

ともしえ No.90

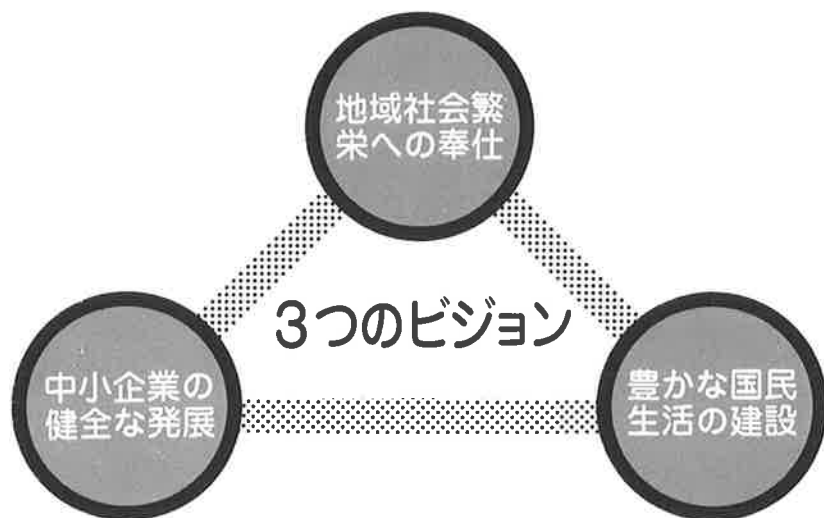
行動する
はつらつたる
商工会議所



■ 函館商工会議所報 ■

1988

9月号



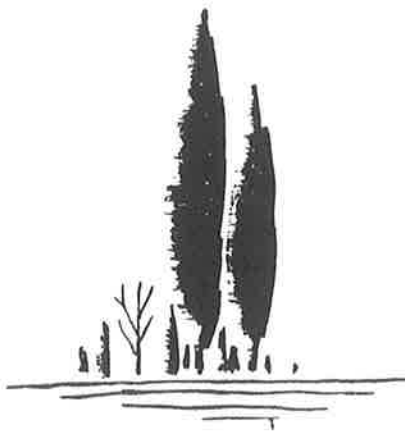
はこしんは豊かな暮らしと
確かな未来の実現に
お手伝いいたします。



本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241代

本 店	函館市豊川町15番20号	TEL 22-1247代	亀 田 支 店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42-3820代
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23-6221代	中 道 支 店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51-1711代
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41-6236代	上 磯 支 店	上磯郡上磯町飯生2丁目4番24号	TEL 73-2151代
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL 52-0511代	え さん 支 店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL 84-2111代
弁 天 支 店	函館市弁天町13番11号	TEL 26-3646代	七 飯 支 店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL 65-2501代
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51-5238代	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2-3121代
湯 川 支 店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57-1492代	知 内 支 店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5-5611代
花 園 支 店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53-5521代			

視 点	1
会議所の動き	2
地域の景気	6
調査レポート	8
アドバイスコナー	10
寄 稿 文	12
Q & A	14
新会員ご紹介	16
情報コーナー	17
ティータイム	18
ご 案 内	20



● 視 点

今年の夏は暗の日が三割位よりなく異常な天候が続き、道南地域の農作物にも影響がでており、九月に入ってもこの傾向は続いています。さすがに最近では、朝夕めっきりと涼しくなり秋の気配が感じられるようになりました。

この地球的規模で生じている異常気象は、大気中の炭酸ガスが増大が原因の一つであるといわれていますが、人類が石油や石炭を大量に消費し、炭酸ガスを放出していることから、これら化石燃料に代る水素や原子力など、新エネルギーの開発利用を急ぐ必要があります。

所で、青函博も本月十八日をもって七十二日間にわたる開催を終了しました。物心両面にわたる多大のご協力本当に有難うございました。目標の人数には達しませんでした。この博覧会が地域経済の活性化そして拡大に与えた影響には計り知れないものがあります。「天の時は地の利に如かず、地の利は人の和に如かず」という諺がありますが、青函トンネルの開通という天の時、現函館駅への本州からの直通列車乗入れという地の利を得た函館にとって必要だったのは、人の和を通じての総力の結集であり、そしてこのことは、青函博を住民総ぐるみになり、地域をあげて開催したことにより一歩も二歩も前に進みました。

観光客は昨年以上にきています。景気も拡大の道を順調に進んでいます。企業の進出もありました。この青函博を開催することで得られた貴重な「人の和」、これを尊重し明るいあすの函館建設に向けさらに努力を積重ねましょう。

会議所の動き



第23回 北海道・東北商工会議所連絡会議



第23回

北海道・東北商工会議所連絡会議 新幹線の建設促進など八議案を決議

北海道と東北六県の商工会議所が毎年一堂に会し、両地域が相携して相互の交流を深めると同時に、経済発展に寄与することを目的とする北海道・東北商工会議所連絡会議が、今年も九月六日函館ハービービューホテルにおいて開催され、本道側三十四、東北側三十六の会議所から会頭、副会頭など約百五十人の方々が参加されました。

当日は会議に先立ち、北海道商工会議所連合会（道商連）の臨時会員総会が開かれ、新たに就任された札幌商工会議所鈴木茂会頭（北海道拓殖銀行頭取）と堀北朋雄専務理事がそれぞれ道商連の会頭、専務理事に選任され、鈴木会頭からは挨拶の中で「今日の我が国経済は中小企業の活力によって支えられており、商工会議所活動の最重要課題は中小企業等に対する指導育成事業にある。」

また、今後の日本経済は地域の発展と活性化によって支えられていくことも深く認識しており、郷土発展のため道商連の持てる組織力を最大限に活用して事業を展開し、商工会議所活動の高揚に務めて参りたい」との強い決意が述べられました。

一方、北海道・東北連絡会議では、道商連鈴木会頭を議長に選出して議事に入り、◎東北・北海道

新幹線の建設促進ならびに鉄道交通網の整備 ◎東北・北海道縦貫横断自動車道ならびに高規格幹線道路等の整備促進 ◎東北・北海道の空港ならびに航空網の整備促進 ◎特定地域振興対策の推進 ◎生協・農協の法的規制の厳守と関係法の改正 ◎地域開発の促進と企業誘致の推進 ◎北海道東北開発公庫の機能の拡充強化 ◎北方領土の返還要求運動の促進など、八件の議案について審議し、いずれも満場一致で採択、関係諸機関への陳情要望を決定しました。

また、本所川田会頭より「両地域の商工会議所は従来にも増す固い結束のもとに新骨格ネットワークの形成や先導的開発事業等の早期実現を強力に展開して、東北と北海道地域に課せられた国家的役割に応え、我が国経済社会の健全なる繁栄に寄与する」との決議の提出があり、万場一致で採択し、議事を終了しました。

会議終了後、元札幌通産局長の坂本春生さんから「これからの産業社会の展望と地域活性化」と題する特別講演が行われました。

テクノ函館に15社が企業進出

昭和五十九年七月、函館市を中心とする一市三町（上磯町・七飯町・大野町）が国のテクノポリス地域の指定を受けて以来、企業誘致に全力を注いできましたが、特に水晶振動子では国内トップメーカーの日本電波工業㈱の函館臨空工業団地への進出は、立地企業として最大の規模であり、テクノポリス函館の立場からもまた、北海道全体にとっても非常に喜ばしい限りです。

テクノポリス函館の建設にあたっては、長期的な展望のもとに地場産業の振興とあわせ、新たに先端技術を有する企業進出に努力するとともに産・学・官が協力して地場産業の技術高度化をはかり、また、そのための優秀な人材を育成することが必要な要件でもあります。

昭和六十一年十月には、テクノポリス函館の中核的な試験研究機関として、メカトロニクスやバイオテクノロジー利用技術などの研

究開発を進めることを目的とする

「道立工業技術センター」が業務を開始したほか、本所においてもテクノポリス事業推進の一環として地元経済界が主体となつて第三セクターとしての㈱函館情報技術開発センターを設立し、今後の技術革新や高度情報化に対応する情報技術者の育成のため、「函館ソフトウェア専門学院」を昭和六十二年四月開校したことはご存知のとおりです。

また一方、企業誘致については本所川田会頭や村瀬副会頭が参加した「函館圏企業誘致推進協議会」が昭和五十九年に発足し、東京都

盛岡—青森間の早期着工を要望

かねてより本所におきましては、四全総に示された青函インターブ

ロック交流圏構想の柱として高速交通ネットワークを形成し、国土の有効活用と地域の均衡ある発展に大きな役割を果たす北海道新幹

内を中心に企業訪問や企業立地説明会を毎年実施してきました。

その結果現在までに十五社の企業が、函館圏への進出を決定するなど、一歩づつ「テクノポリス函館」実現に向つて努力が積重ねられており、本所と致しまして、更に強力で誘致運動を推進していく方針です。

誘致企業十五社は次の通りです。
 (株)萬和函館支店、松江エンジニアリング㈱、(株)オベレックス、第一精密産業㈱、豊和エンジニアリング㈱、(株)電業社、(株)ボロレ・ジャパン、松本食品工業㈱、遠藤精機㈱、朝日金属工業㈱、(株)北海道エイ・アイ、(株)ロバパン、北海道産㈱、日本電波工業㈱、(株)インタースペース。

線の早期建設について陳情活動を行つて参りました。また八月末迄

に政府・自民党が整備新幹線の着工優先順位を決定するという機会をとらえ、本道と青森県の経済団体の代表者で構成する青函経済圏

振興促進協議会を中心とする陳情団が八月三十日に大挙上京し、中央陳情を行いました。本所からは川田会頭と村瀬副会頭が参加しました。今回の陳情は、すでに盛岡以南の東北新幹線は開業しており、未着工の盛岡—青森間は東北新幹線の残工事として、また国費七千億円を投じて完成した青函トンネルの有効活用のためにも、青森迄早急に新幹線を建設する必要があるというところで行われました。

陳情先は、自民党の政務調査会長 渡辺美智雄氏、整備新幹線建設促進特別委員長 細田吉蔵氏、同委員会顧問 三塚博氏、小渕内閣官房長官、石原運輸・梶山自治両大臣でした。

こうした陳情の結果、去る九月一日の整備新幹線建設促進検討委員会では、東北新幹線の盛岡—青森間は着工順位第三位となり、一応昭和六十五年以降の着工が予定されることとなり、函館までの新幹線乗入れへの可能性も一歩前進しました。

今後も建設財源の問題も残されていることから北海道新幹線の早期実現のため青森県などの関係団体とも陳情活動をねばり強く展開する予定です。

青函インターブロック フォーラム開催!

「明日の青函圏を考
える―青函ニューワ
ールドの創造を目指
して」をテーマに、
函館と青森の青函博
両会場を結ぶテレビ
会議システムにより
「青函インターブロ
ック交流圏フォーラ
ム」が、去る八月二
十六日、開催されま
した。



青函インターブロック
交流圏フォーラム函館会場



フォーラムの最初
に北海道東北開発公
庫の小林主任調査員
による「青函トンネ
ルの開通と青函圏の
展望」と題する基調
講演があり、次に青
函地域の地元経済人
四人によるパネルデ
ィスカッションが行
われました。

この討論では「青函
圏における産業・技
術交流のあり方に
ついて」をテーマに、
まず、青森商工会議所田中副会頭
が「今後、青函地域は新たな交流
圏設定へ向け、相互が協力し合い
ながら産業のハイテク化をすすめ
ユニークな地域づくりを行うこと
が必要であり、そのためには、青
函圏を単に消費地としてだけでは
なく生産の場としてとらえ、青函
地域独自の商品を生産する。学
ノドにまで高めるための産・学・

官による協力が必要である」との
意見が述べられ、また、本所平野
専務からは「青函トンネル開通後
の青函圏内の少なくとも四核都
市（函館・青森・八戸・弘前）に
よるなお一層の経済的・文化的交
流を深めることが、北日本第三の
百万都市圏をめざす上で最も重要
であり、その実現のためには(1)高
速交通ネットワークの整備、(2)情
報・技術・学術ネットワークの構
築、(3)広域観光ネットワークの確
立が必要である」との発言がなさ
れました。

引き続き、「青函広域観光のあ

り方について」というテーマで、
五稜郭タワー(株)中野専務取締役か
ら「歴史的・文化的に異なる青函
両地域が、自己の歴史や文化を自
覚し、真の交流を行う中から初め
て新しい価値が生み出される」と
の意見が述べられ、また、青森観
光連盟の中村理事からは「青函両
地区の観光については、まず自分
達の身近にある素材を十分に活か
している住民の生き様こそが、最
大の観光資源ではないだろうか」と
の意見が述べられるなど、両地
域の問題点や今後の課題について
活発な意見交換がなされました。

第四十六回全道珠算競技大会が、去る九月四日(日)帯広市で開催
され、全道各地から四百六十二人が参加し、団体・個人競技、種目別
競技、都市対抗競技に日頃の技を競いました。函館地区からは二十六
人の代表選手が参加しましたが、競技の結果、乗算、徐算、見取暗算、
見取算、伝票算、応用計算の各種目で満点を出した札幌市の大関一誠
君(札幌北―第46回
高校)が、
「そろばん
の荣誉に輝
きました。」

全道珠算競技大会

- 以下函館関係分入賞者
- △団体競技▽ ○高校の部三位 函館中部高校
- △個人競技▽ ○高校の部三位 日沼祐子(中部高)
- 小学校の部三位 高橋 愛(鷲の木小)
- △読上暗算競技▽ ○中学校の部三位 高橋大輔(森中)



事務局日誌

8月

- *部会
 - 8月) 観光サービス部会
 - 〃 理財部会
 - 9月) 運輸港湾部会
 - 〃 商業部会
 - 11月) 工業部会
 - 16月) 農水産部会
- *正副会頭会議
 - 12月) 第58回正副会頭会議
- *会議(道商連)
 - 5月) 自民党本道選出国議員と全道商工会議所会頭との政策懇話会
 - 〃 昭和63年度小規模事業指導推進費補助金等交付申請に伴う事務打合せ会
 - 11月) 第9回運営委員会
 - 26月) 第25回全道商工会議所女子職員研修会
- *経審査会
 - 11月) 小企業等経営改善資金の審査会
 - 29月) 〃
- *諮会議
 - 2月) 連絡船活用問題懇談会
 - 5月) 所報「ともえ」No.89(8月号)編集会議
 - 6月) 日本電波工業社長との懇談会
 - 10月) 北海道中小企業団体中央会昭和63年度中小企業団体全道大会
 - 〃 新幹線現函館駅乗入れ促進期成会常任幹事会
 - 〃 本所年金共済制度設置に伴う事務担当者打合せ会議
 - 〃 函館市情報公開制度懇話会
 - 11月) 青函博中国物産展委員会
 - 17月) 連絡船活用問題懇談会
 - 18月) 青函インターブロック交流圏フォーラム、パネリスト・コーディネーター合同会議
 - 22月) 函館空港ビルディング(株)取締役会
 - 24月) 第9回函館市商工連絡会議幹事会
 - 25月) 北海道未来総合研究所「青函地域経済調査団」一行との懇談会
 - 〃 新都心五稜郭協議会夏期例会・懇親会
 - 26月) 青函インターブロック交流圏フォーラム

- 28月) 連絡船に関する懇談会
- 30月) 所報「ともえ」No.90(9月号)編集会議
- *陳情・要望
 - 1月) 青森・函館の経済界による東北新幹線建設促進に関する陳情
- 30月) 整備新幹線(東北・北海道)建設促進に関する陳情
- *講習・催物
 - 7月) 第30回全道ろうあ者福祉大会
 - 〃 第17回函館市勤労者ソフトボール大会
 - 10月) 経営相談
 - 11月)~30月) 嶮崎波響(夷酋列像)フランスからの里帰り展
 - 13月)・14月) 第8回函館港JBCオープンヨットレース
 - 17月) 発明相談
 - 20月) 函中どんじり会、評論家早坂茂三氏時局講演会
 - 23月) 経営相談
 - 24月) 経営セミナー「サービスの商品化と販売力強化のノウハウ」
 - 〃 北東公庫出融資相談室
 - 25月)~30月) '88函館クラフト展
 - 26月) 第18回全道建築科指導員研修大会
- *刊行物
 - 20月) 所報「ともえ」No.89(8月号)発行
- *相談・診断
 - 金融 142 税務 48 経理 17 経営 40
 - 労働 17 取引 3 その他 5 計 272
- *貸室
 - 本館 20 別館 4
- *文書
 - 受信 263 発信 10
- *慶弔・その他
 - 1月) 開港130年記念函館港まつり開会式
 - 〃 昭和63年度函館市功労者表彰式
 - 2月) 昭和63年度函館市功労者(水産業界)受賞祝賀会
 - 3月) 開港友好5都市ミストの交流レセプション
 - 〃 函館港まつり万人踊りパレード
 - 4月) 東邦生命謝恩の夕べ
 - 9月) 中小企業団体全道大会歓迎夕食会
 - 〃 函館海洋気象台所属「海洋気象観測船高風丸第II世」竣工披露式
 - 15月) ミス・アメリカン・トレイン本所表敬訪問
 - 20月) 第42回全国レクリエーション大会式典並びに全国交歓の夕べ
 - 22月) 自衛隊函館地連部長及び函館駐屯地業務隊長歓迎会
 - 22月)~27月) 経営指導員研修
 - 23月) 日本電波工業社長を囲む夕食会
 - 〃 ゴ・アメリカン・トレイン・イン・ジャパン函館駅オープニングセレモニー
 - 〃 福岡商工会議所博覧会開催に伴う商店街等の活動状況視察団の訪問
 - 24月) 函館特産品工業協同組合創立満30周年記念式典並びに祝賀会
 - 〃 函館圏企業誘致推進協議会「北海道ビックプロジェクトツアー」一行来函歓迎夕食会
 - 26月) 函館政経懇話会、元内閣総理大臣鈴木善幸先生来函夕食会
 - 29月)~9月2月) 経営指導員研修

65年の伝統と信用を誇る

早川特許事務所

特許、実用新案、意匠、商標、権利侵害

所長 弁理士 早川政名

〒112 東京都文京区白山5-14-7 早川ビル 電話 (03) 946-0531 <代表>

発明相談 10月19日 水曜日午前10時から午後5時まで、函館商工会議所で相談をお受けいたします。相談は予約制になっていますので、商工会議所相談課 (23-1181・内線63番) にお申し込み下さい。

級家具・家電向けを中心に生産、出荷とも堅調。一方、漁網では、イワシ旋網等は引き続き順調ながら、主力底引網の引き合いが低調なため、生産は抑制。

(4)建設関連

新設住宅着工は、分譲・賃貸マンションが増加しているものの、一戸建て住宅の減少を主因に増勢は純化してきている。また、公共工事の発注額もここへきて頭打ち（主要5官庁の7月中発注額前年比 $\Delta 0.7\%$ ）。もっとも、土木・建築筋では、高水準の手持ち受注残を抱え引き続き繁忙裡に推移しているほか、セメント、生コン等建設資材の荷動きも好調。

(5)農 業

農作物の生育状況（渡島・桧山支庁調べ）は7月の低温や日照不足等が響き、全般的に遅れ気味で、主力の水稻や豆類が「軽い不良」または「やや不良」の模様。

(6)漁 業

近海マイカ漁は、日本海側が魚群の来遊から前年を上回る豊漁の反面、太平洋側は不漁に推移。全体の水揚額は、魚価安もあって豊漁の前年を大きく下回っている。

(7)消費関連

7月中の市内大型小売店（10か店）の売り上げは、食料品を中心とした中元贈答品や高額商品の好売れ行き等に加え、休日増（日曜日が前年比1日増）もあって、前年比5.6%の増加。8月入り後については、暑気到来もあって夏物衣料品が好売れ行きを

示すなど比較的順調な模様。一方、耐久消費財では、家電販売は前年の高水準もあってVTR等を中心に伸びが低下しているが、自動車販売（7月中の管内新車販売台数前年比+2.7%）は商用車、大衆乗用車を中心に堅調。

この間、観光面では、青函トンネルブーム等から入込み客が増勢を持続、主要観光地は連日大賑いの盛況。これに伴い、観光施設、ホテル、土産物店等も活況を持続。もっとも、目下開催中の青函博の入場者数は天候不順等が響き当初見込みを下回っている。

3. 金融事情（7月中）

○実質預金は、法人預金の堅調持続や税収好調等を映じた公金預金の伸長に加え、月末休日に伴う高止まりもあって、月中76億円の増加（前年5億円増）。また、貸出も水産加工の原魚買付資金、建設、卸・小売等の増加運転資金を中心に、月中81億円の増加（前年41億円増）。

この間、管内銀行の貸出約定平均金利は、月中 $\Delta 0.012\%$ と前月に引き続き小幅低下（前月 $\Delta 0.017\%$ ）。

○銀行券は、公務員ボーナス資金、月末決済資金等の順調な還流や、観光・レジャー資金の流入増等から、月中130億円の大幅還収超（前年同112億円）。

○財政収支は、租税、保険等の受け入れが多額に上ったため、月中68億円の受超（前年同40億円）。

地域の

景気

日本銀行函館支店

1. 概 況

○最近の管内経済動向をみると、農作物の生育が遅れ気味で、その影響が懸念されるものの、夏場観光の盛り上がり等に伴い個人消費が好調なほか、民間設備投資の増加もあって、企業の売り上げ、生産は高水準に推移しており、雇用情勢も改善傾向を示すなど、管内景気は引き続き好調裡に推移している。

○すなわち、製造業では旺盛な需要を背景に、電子部品、製缶機械等が能力増強投資等により増産体制を一段と強化しているほか、水産加工、乳加工品等でもパート採用増、時間外勤務の拡大等によりフル生産を続行。また、非製造業では、土木・建築筋が高水準の手持ち受注残を抱え引き続き繁忙裡に推移しているほか、百貨店売り上げ、自動車販売も堅調な動きを示しており、観光関連筋でも観光・レジャー客の入込み増から活況裡に推移。

この間、雇用情勢をみると、建設、卸・小売、サービス等の求人増を主因に引き続き改善傾向を示している。また、来春の新卒者採用についても企業の業績好転等を背景に今春実績を上回る見通し。

○金融面をみると、預金は法人・公金預金の伸びを主因に順調であったほか、貸出も水産加工、建設、卸・小売の増加運転資金を中心に堅調。この間、管内銀行の貸出約定平均金利は前月に引き続き小幅低下。

2. 主要業種別動向

(1)機 械

電子部品、製缶機械では、需要好調を背景に受注が増加の一途にあるため、能力増強投資等により、増産体制を一段と強化。また、合板機械でも高水準の受注残を抱え、外注・時間外勤務の拡大等によりフル操業を継続。一方、造船では、アルミ漁船等小型船が引き続き順調なほか、修繕船受注も比較的堅調。

(2)食 料 品

水産加工では、夏場行楽・レジャーの盛り上がりを背景に、問屋筋からの買注文が好調なうえ、原魚手当ても順調なため、大方の先がパートの採用増等により増産を企図。また、乳加工品でも市乳の売れ行きが天候不順からやや低調なものの、需給引き締まりの練乳、粉乳の荷動き活発化を主因に、生産、出荷とも好調。一方、飼料・魚油では、魚油輸出は国際穀物市況の上伸等を映じて堅調ながら、主力飼料の生産は原魚イワシの浜値高もあって抑制気味。

(3)その他製造業

段ボールでは、青果物向けが馬鈴薯の出荷期を控え好調なため高めの生産を続行。また、合板でも安値インドネシア製品の流入増等を背景に市況は軟化しているが、高

②新車登録台数

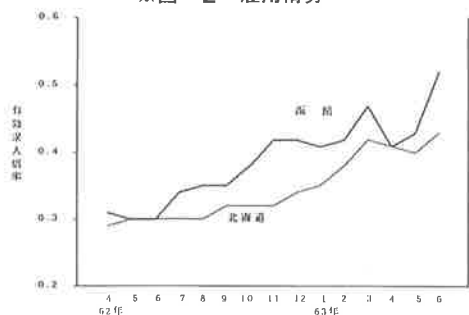
第1四半期の函館管内新車登録台数は、7,787台で前年同期より10.6%の増加と、好調で続けている。

車種別では、普通小型乗用車が4,591台で同4.9%の増加と堅調、貨物・その他も1,253台で同43.2%の増加と引き続き大幅な伸びをみせる中、低調を続けた軽自動車は1,943台同8.5%の増加に転じた。

5. 雇用情勢

第1四半期の函館職業安定所管内の雇用情勢は月平均有効求職者数（常用）が7,257人で前年同期に比べ2.1%減少、月平均有効求

※図-2 雇用情勢



人数（常用）は3,287人で同46.3%増加し、有効求人倍率は0.45倍と前年同期より0.15ポイント上昇し高水準を続けている。

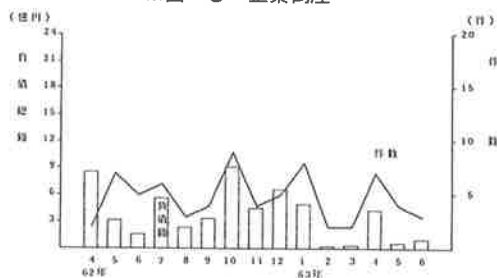
6. 金融情勢

函館管内金融機関（都市及び地方銀行、相互銀行、信用金庫）の63年6月末現在の預金残高は8,530億800万円（前年同月比6.6%増）、これに対して貸出総残高は5,834億300万円（同6.4%増）で預貸率は68.4%と前年同月に比べて0.1ポイント下降した。

7. 企業倒産

第1四半期の函館管内企業倒産（負債額1,000万円以上）は引き続き落ち着いた動きで前年同期に比べ件数が14件と同数、負債総額は6億円で同54.7%の大幅減少となった。

※図-3 企業倒産



統計資料

第一種函館市内大規模小売店舗売上高（10店） 昭和63年7月

品名	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣料品	3,073,509	113.8	105.5
身回品	519,729	101.5	96.0
雑貨	623,144	118.4	112.1
家庭用品	712,365	118.6	96.0
食料品	1,973,957	130.4	108.6
食堂・喫茶	186,271	114.0	101.7
サービス	108,826	119.7	153.2
その他	681,039	112.7	106.5
総計	7,878,840	117.4	105.6

※10店とは樺二森屋、丸井今井、さいか、和光、ハイショップホリタ、テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ホリタショップパズプラザ湯の川店の各店をいう。

経済の窓

(昭和63年4～6月期)

函館地域の
経済動向

「函館地域の経済動向」(第1四半期)

昭和63年度第1四半期の函館管内経済動向は、公共事業が前年度に引き続き好調に推移し、生産活動も活況を続けている中、民間建築は落ち着いた感がある。個人消費は催事奏功より盛り上がりを見せている。また求人面では、青函トンネルブーム、青函博をひかえての観光客の入込みも好調で、サービス業・製造業を中心に求人が増加し、大幅に改善されている。

1. 公共事業発注状況

昭和63年度の函館管内公共事業関連予算額(年度当初予算)は、総体で約778億円で前年度(約651億円)より19.5%の増加。

また第1四半期迄の発注額は454億4,400万円で前年同期(409億4,900万円)に比べ44億9,500万円の増加、発注率は58.4%(前年同期62.9%)となった。

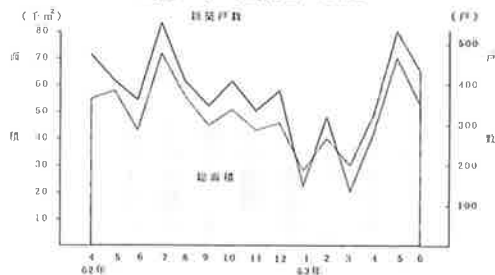
機関別にみると、函館開発建設部が270億6,800万円、発注率70.7%で前年同期(255億6,200万円、73.2%)より15億600万円上回る実績。函館土木現業所でも発注額が141億9,500万円、発注率51.3%と前年同期(137億8,800万円、59.9%)を上回った。函館市では発注額が41億8,100万円、発注率34.0%と前年同期(15億9,900万円、16.7%)より大幅に増加しており、順調に推移している。

2. 建築着工状況

第1四半期の函館市内建築着工状況は、建築物床面積合計が193,558㎡で、前年同期に比べ23.7%の増加、うち住宅部分床面積は109,038㎡で同5.9%の減少と高水準ながらも1年半振りに前年度実績を下回った。

また住宅総戸数は1,188戸で同13.0%の減少、うち新築住宅の1,100戸、同12.4%の減少が影響している。内訳は持ち家が434戸(前年同期比20.4%減)、借家493戸(同14.3%減)、その他173戸(同27.2%増)と、個人住宅の伸び悩みがうかがわれる。

※図-1 建築着工状況



3. 電力需要

第1四半期の函館管内電力消費実績は、2億2,661万Kwhで前年同期に比べ21.1%の増加、うち産業用電力は1億2,794万Kwhで同34.7%の大幅増加。窯・土石業、運輸・通信・ガス・水道業の消費量が前年同期に比べ倍増したのが影響している。

4. 個人消費

①大型店売上高

第1四半期の函館市内第一種大型店売上高(ニトリ家具を除く)は、四半期総額で214億2,355万円、前年同期比5.4%の増加と上向き傾向で推移した。

品目物では、衣料品が87億3,533万円で同5.8%増加、ほかは食料品47億1,102万円、同2.0%増、身回品16億2,726万円、同13.2%増と、催事の奏功が反映し好調となった。

事業主の 健康管理入門
ための



社団法人産業労働研究所理事
桐木 逸朗



第11章 献血はあなたを救う

病気でなくても不慮の事故や災害で大量の血液を輸血しないと生命が危険な状態になるおそれを経営者たちはみんな持っているといつてよいでしょう。もちろん実際には経営者のなかでそうした状況

に直面する人は少ないのですが、しかし経営者だけでなく家族もまた同じような危険に直面するかも知れません。そのような場合に備えてあらかじめ血液型を調べておき、ポケットにその血液型を記入したカードをいつも入れておくようにした方がよいでしょう。

血液型にはABO式、Rh式、HLA式などいろいろな方法がありますが、もっとも多く使われているのはABO型です。これは血液型をA、B、O、ABの4つに分類するものですが、この分類はお互いの血液を混合した場合、一方の人の赤血球と、他の人の血漿（血清）とが反応し合って、赤血球がかたまって集まってしまふ（これを凝集といいます）とやがてその血球がこわされてしまうことがあるので、それを防ぐために考えられたものです。

O型の血球→O型の血清に可
O型の赤血球は、他の型の血清と混ぜても凝集しないので万能型の血液型といわれていたが最近では副作用のあることがわかりO型の血液はO型の血液型のみ輸血している。

A型→A型とAB型の血清に可
B型→B型とAB型の血清に可
AB型→AB型の血清に可

また経営者が共同で、従業員や家族も含めた「献血会」を組織されるようおすすめます。献血会は日本赤十字社血液センターの担当者と十分に協議して発足させればよいのですが、血液銀行に預血するのではなくあくまでも社会のために献血することを通して役に立つと同時に自分自身もその恩恵に預かることができるという考え方を貫いて、1回限りでなく継続的に献血をくりかえしてほしいものです。

第12章 年一回救急箱の点検を

病気やケガをして、どうにも手にも負えない場合は医者に行くのが一番です。しかし経営者や家族が

青函トンネルに夢のせて、おいしさまるやか。

青函トンネル開通記念銘菓

青函トンネル まんじゅう

JR函館駅売店・キヨスク・ポニー・丸井・五稜タワー・函館空港売店
イトーヨーカ堂・当店で、お買い求めください。

●地方発送も承ります。

高級和洋菓子

木匠堂

函館市東雲町18-5(祇園通り) ☎26-3388

(姉妹品) 好評新発売!

青函トンネル ようかん

突然ケガをしたとか、急に熱がでて寝込んだというときは、医者にかかるまでの応急手当のため必要最少限の薬品を救急箱に入れて用意しておくにこしたことはありません。また簡単な軽い病気で医者にゆくまでもない者を家庭で治療するためにも役に立ちます。

経営者の家庭なりお店の救急薬の内容については、家族構成員の年齢・性別、医療機関の配置状況などでやや異なりますが、もしホームドクター（かかりつけの医者）がいる場合は一応相談されてきめられた方がよいと思います。

また救急箱はたとえば毎年10月10日の「体育の日」に点検するというようにきめておいて、古くなった薬を新しく補充するとか、新しく必要となった薬を購入するなどするようにしたらいかげですか。救急箱の薬品はいっぺんに沢山揃える必要はなく、最少限におさえられるようにしてほしいものです。そこで救急箱の中味にどのようなものを揃えたらよいか、示しておきましょう。もちろんこれはあく

まで一例で、家庭それぞれの事情にしたがってきめるのが当然です。薬品には必ず購入年月日を入れ、また救急箱（薬品も含む）は小さな子供たちの手の届かぬところに置くようにしてください。

救急箱に最少限入れておく器具の備品

- ①ガーゼ・1メートル
 - ②脱脂綿50グラム
 - ③包帯・5巻
 - ④油紙5枚
 - ⑤三角布・2枚
 - ⑥ピンセット・1本
 - ⑦医療用はさみ・1丁
 - ⑧体温計・1本
 - ⑨綿棒・1箱
 - ⑩サポーター・1組み
 - ⑪絆創膏各種
 - ⑫毛ぬき
 - ▽別途に備えておきたいもの
 - ①水枕
 - ②氷のう
 - ③湯タンポ
 - ④体重計
 - ⑤血圧計（できるなら）
 - ⑥懐中電灯
 - ▽救急箱に備えておく薬
 - ①消毒用アルコール（傷口のまわりや器具の簡単な消毒用）
 - ②オキシドール（過酸化水素水）（傷ぐちの消毒およびうがい薬）
 - ③マーズニン液・アクリノール液
- またはヨードチンキ（傷口の消毒）

④逆性石けん液（傷口の消毒、食器の消毒、手の消毒、家具の消毒など）

⑤クレゾール石けん液（傷口の消毒、皮膚の消毒、排泄物の消毒、器具の消毒）

⑥硼酸（うがい薬、湿布）

⑦アンモニア水、カンフルアルコール（虫刺され）

⑧カンフルアルコール・抗ヒスタミン軟膏（ノミや蚊などに刺されたときのかゆみ止め）

⑨家庭用軟膏（小さな傷）

⑩抗生物質軟膏（おでき治療、化膿予防）

⑪軽便浣腸、緩下剤（便秘）

⑫鎮痛剤（頭痛、歯痛、月経痛）

⑬解熱鎮静剤（かぜの初期）

⑭健胃剤（胸やけ、食欲不振、消化不良など）

⑮整腸剤（下痢、腹痛、異常酸酵など）

⑯目ぐすり（目の疲労回復）

⑰駆虫剤（寄生虫の駆除）

⑱亜鉛華澱粉（汗知らず）（あせもや湿疹の初期）

（おわり）。

事務機器・教育機器・オフィス家具
コンピュータ・設計製図機器・測量機器



株式会社

近藤商会

取締役社長 池見厚一

本店 函館市西桔梗町（流通センター） ☎49-3311
支店 室蘭市・苫小牧市



場面作りが最も重要

まず実行委員会を設置する
企業における冠婚葬祭

武蔵野互助会(株)

代表取締役 武田七郎

イベント

今や世の中はイベント時代である。イベントによりいろいろの仕掛けをし、企業イメージのアップを図り、商品販売や人脈づくり役立てようとするものである。

しかし、企画が立派でも人が集まらず、不成功の場合もある。企画内容が対象としていることに対して適切でなく、また感動を起こすものでなくては、イベントをする意味がないのである。そのためには動員されたスタッフの心が一つになり、お客様との交流も自然になるようにすることが必要である。人間と人間心と心のふれあいである。そんな交流の中から商取引が生まれるものである。しかし、あくまでも商取引として成り立つかどうかは、個人の努力しだいである。

このようなことを考慮に入れ、イベントに携わるスタッフは、場面作り、雰囲気作りへの工夫が最も要求される。場面づくり

とは会場作りである。当日のお客様の流れ、お客様の考えること、見ること、聞くことなどを想像したうえで設定が必要である。主催者側の都合による押しつけではなく、あくまでもお客様の都合に合わせた内容であるかどうかということである。

次に雰囲気作りであるが、挨拶などを含めた進行の中において司会者の役割は大きいものである。雰囲気を盛り上げるためのシナリオ作りがキーポイントである。司会者の盛り上げ方により、お客様も自然に進行の中の流れに沿い、主催側と一体となり、全体が盛り上がりつつあるのである。イベントを担当するスタッフはこのようなことを頭におき、企画などの検討に取り組んで欲しいものである。特に重要なのは出席者が参加し、主役になるような心掛けの企画である。

実行委員会の設置

会社が主催する催事については、まず社内「実行委員会」

を設置することが必要である。実行委員長は取締役員から、副委員長は総務担当役員とし、委員については各部署より一〜二名というように選任を図る。また総体をまとめる「事務局」を設置することが必要であるが、細目については省略する。

実行委員会で全てを独断で行うのではなく、全社的な考えで取り組むということである。また全社員が取り組まなければならぬような企画を作ることが必要なのである。開催前日においては、シナリオ通りに実行できるようリハーサルが必要である。いずれにしても全社員の個人的な感情は無視して、協力させるのであるから非常に気苦労の多い仕事である。

創立記念事業について

催しの準備などについては前述の通りであるが、大切なことは目的、主旨を忘れてはならないことである。創業時から今日に至るまでの業績、そして現在、また未来についてのビジョンといったことにふれた内容でなければ単なるパーティーで終わってしまうのである。主催者側である会社としては、よりいっそうの発展、また事業の拡大を望むのでこのことなのである。

挨拶が中心といった形式にとらわれた内容ではなく、社歴を映像化したものを放映したりといった工夫が欲しいものである。その時代の社会の出来ごとなど盛り入れたものも大切といえよう。

社葬について総務の役割

会社において社葬を行うことは二十一年に一度くらいなものである。また、それは社運のかかった一大イベントでもある。社葬を行うような人は、会社にとって重要な人物であり、経営者の交代であるともいえるのである。そのような中で、会社の健全性を対外的に知らしめる場合あるともいえるのである。それだけに社葬に対する取り組みは大切であり、葬儀社との打ち合わせは十分に行うことが重要である。葬儀社の選定にあたっては金額面で選ぶのではなく、社葬についての施行経歴の確認、また規模、組織などについても十分な確認を取ることが必要である。企画にあたっては、故人の業績、人生訓、趣味、嗜好品、その他に関しても取り上げ、故人を偲ぶ内容となることが大切である。

いずれにしても、信頼のおける葬儀社を選ぶことが大切なのである。社葬では取締役員は立役者で、社員は下働き役者でなければならぬ。

【武田七郎（たけだ・しちろう）氏の略歴】

昭和十二年七月二十五日生まれ。武蔵野互助会(株)代表取締役、武蔵野グループ以下十七社取締役副社長、(株)全日本冠婚葬祭互助会常任理事。著書は「冠婚葬祭小百科」(土屋書店)、「仲人を頼まれたら」(学研)、「ビジネスマンの冠婚葬祭事典」(学研)など。